



楓の誉

R8.2.24(第14号)

文責: 高田 幸伸

『Active 2nd』

～二年生修学旅行・広島・京都・奈良方面～

二月三日(火)～五日(木)の二泊三日で、二年生の修学旅行を実施しました。修学旅行のスローガンは実行委員が中心となり、自分たちの日常と向き合い、さらに成長したいという思いを込め「アクティブ・セカンド ～平和を結び、自律して動く仲間とつながる～」です。

一日目は、広島に途中下車し、平和記念公園のフイールドワーク・平和集会・資料館見学をしました。ガイドさんの説明を熱心に聞く生徒たちの姿が印象的でした。

二日目は、京都市内での班別自主行動でした。各班一台ずつスマートフォンを所持し、事前に立てた計画に従って、班別行動しました。ホテルの玄関でいきなり「今どこですか?」とたずねてくる班もありましたが、全員無事に宿に帰ることができました。京都の歴史や文化に触れることは勿論ですが、班で協力して、計画に沿って目的を

目指す活動は、現在求められているまさに協働する力の育成につながります。また、夜には、舞妓さんの舞踊などを観賞しました。

三日目は、奈良公園で



〈原爆ドームを目の前に ↑〉

南大門や金剛力士像、大仏殿、盧舎那仏等を見学しました。ガイドさんの説明を熱心に聞き、歴史的建造物を作成した当時の人々の願いに思いを寄せました。

様々なアクシデントはありましたが、大きな事故などはなく、修学旅行を終えることができました。解散式では「修学旅行はあたりまえのことではな



〈金剛力士像 ↑〉

く、帰宅したら保護者に「ありがとう。」を伝え、修学旅行の土産話をしてほしい。」と生徒たちに伝えました。保護者の皆様におかれましては、様々な面でご支援を賜り心より感謝申し上げます。

「変化したことに気づきました。」

～金陽会絵画展を実施しました。～

二月二日(月)から八日(日)の期間で、菊池恵楓園入所者自治会金陽会絵画展を開催しました。平日は、本校の児童生徒や市内の児童が見学し、週末は一般公開されました。キュレーターのご協力で、地域の皆様、小中PTA役員の皆様のご協力で、多くの参観者が訪れました。生徒の感想には次のようなものがありました。

命という作品では木が描かれていて、質感がものすごく本物みたいでびっくりしました。ストロベリーでは、絵の中にいちごの焼酎があって、なんでこんな組み合わせにしたのだろうと思いました。どの絵にも意味が込められていて、恵楓園がどんな様子だったか、どんなことが起こっていたかが絵を見ただけで伝わってきて驚きました。愛娘(猫)の絵には、描いた作者の人が大切にしていたんだというのが伝わってきました。

(一年生生徒の感想)

私は、中原繁敏さんの愛娘(猫)と堀崎一雄さんのタイトルの不明の絵柄が大好きなので目に入ってきて見とれてしまいました。小学四年生の時に見た絵を今回も見た時に、考えが変わっていることに気づきました。四年生の時は、「すごい!色づかいがきれい!」や暗い絵では「なぜ、ここにこれを書いたのだろう?」と考えていた自分が、中学二年生になった今「自分もこんな絵を描いてみたい!」や「どう思うでこうしたのだろう?」と変化したことに気づきました。これからもっといろいろな絵を見て学んでいきたいです。

(二年生生徒の感想)

五年生から中学三年生までたくさん作品を見てきてみなさんが恵楓園に入所されている間にどのような出来事や行事があった、どのように感じられたのかなど、五年にわたって考えることができ、本当にいい経験になったなと思えました。中学校を卒業すると毎年鑑賞できなくなるのはとても悲しいですが、楓の森で「知らないを観に行こう」展があったら足を運びたいと思います。さまざまな素敵で心を動かされる作品に出会えてよかったです。

(三年生生徒の感想)

生徒たちの心に金陽会の絵画展が深く根付くとともに、描かれた絵の背景に思いを馳せる様子が伝わってきます。

熊本県学力・学習状況調査の結果について

昨年十二月に一・二年生を対象に実施された熊本県学力・学習状況調査の結果については、一・二年ともに国語・数学・英語で県平均を上回っています。また、ほとんどの学年と教科で合志市の平均を上回っています。生徒一人一人の個票については、QRコードで後日配付させていただきます。

※学校生活の様子や様々な情報は、本校HPに随時掲載しています。



学校HPのQRコード